



平成16年8月9日

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）上場会社名 株式会社 **紀陽銀行**

（コード番号：8370 東証・大証第1部）

（URL <http://www.kiyobank.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役頭取 片山 博臣

責任者役職・氏名 経営企画本部部长 松岡 靖之

TEL(073)426-7133

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（詳細別紙）

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有（連結（新規）1社 持分法（除外）1社）

紀陽リース・キャピタル株式会社については、当行が株式を追加取得したことにより、持分法適用会社から除外し、連結子会社に含まれることになりました。

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経 常 収 益		経 常 利 益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	16,659	(-)	1,676	(-)	1,771	(-)
16年3月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 16年3月期	68,071	(7.0)	9,965	(-)	9,907	(-)

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	4	38	3	12
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 16年3月期	22	80	17	46

（注）1. 経常収益、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 四半期財務・業績の概況の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のわが国経済は、企業部門の改善が進み、また、個人消費も持ち直すなど、着実な回復を続けました。一方、当行が主要な営業地盤とする和歌山県や大阪府南部の経済状況は、一部に持ち直しの動きもみられたものの、個人消費などは力強さに欠ける状況にあり、景況感の全国との差は依然開いていました。

このような状況のなか、当行は、地域社会により密着した営業活動を展開し、リレーションシップバンキングの機能強化をはかりつつ、業績の伸展と経営体質の強化に努めてまいりました。

当第1四半期につきましては、事業性資金需要の回復の遅れ、住宅ローン市場における獲得競争の過熱化などにより貸出金残高は減少しておりますが、反面、投資信託の積極的な販売などにより役務収支は順調に伸びております。これらを受け、連結ベースでの業績は、経常利益16億円、四半期純利益17億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	2,891,230	78,210	2.7	108 33
16年3月期第1四半期	-	-	-	- -
(参考)16年3月期	2,805,297	80,121	2.9	111 35

[財政状態(連結)の変動に関する定性情報等]

当四半期末の総資産(連結)は前連結会計年度末比859億円増加し、2兆8,912億円となりました。貸出金は前連結会計年度末比594億円減少し、1兆7,542億円となりました。また、預金は前連結会計年度末比568億円増加し、2兆6,678億円となりました。なお預金のうち個人預金は前連結会計年度末比300億円増加し1兆9,499億円となり、また投資信託の預かり残高は前連結会計年度末比116億円増加し、534億円となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

平成17年3月期の連結業績予想につきましては、中間期・通期ともに変更ございません。

比較四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	54,387			41,731	12,656
コールローン及び買入手形	20,092			9,179	10,913
買現先勘定	71,993			-	71,993
債券貸借取引支払保証金	10,416			88,253	77,837
買入金銭債権	1,756			913	843
商品有価証券	4,157			3,983	174
有価証券	847,758			728,059	119,699
貸出金	1,754,256			1,813,748	59,492
外国為替	1,569			1,504	65
その他資産	25,551			17,621	7,930
動産不動産	40,977			40,005	972
繰延税金資産	37,097			35,781	1,316
支払承諾見返	50,067			50,716	649
貸倒引当金	28,851			26,201	2,650
資産の部合計	2,891,230			2,805,297	85,933
(負債の部)					
預金	2,667,821			2,610,981	56,840
譲渡性預金	500			-	500
コールマネー及び売渡手形	4,020			3,970	50
債券貸借取引受入担保金	41,801			11,207	30,594
借入金	29,849			29,928	79
外国為替	55			84	29
社債	3,000			3,000	-
その他負債	12,088			12,429	341
退職給付引当金	2,819			2,328	491
繰延税金負債	3			2	1
支払承諾	50,067			50,716	649
負債の部合計	2,812,027			2,724,649	87,378
(少数株主持分)					
少数株主持分	992			525	467
(資本の部)					
資本金	60,346			60,346	-
資本剰余金	2,509			2,509	-
利益剰余金	10,546			10,473	73
その他有価証券評価差額金	4,873			6,853	1,980
自己株式	65			61	4
資本の部合計	78,210			80,121	1,911
負債、少数株主持分 及び資本の部合計	2,891,230			2,805,297	85,933

比較四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期 (C)
経常収益	16,659			68,071
資金運用収益	12,206			53,033
（うち貸出金利息）	9,815			40,192
（うち有価証券利息配当金）	2,360			12,601
役務取引等収益	2,324			7,978
その他業務収益	1,443			5,292
その他経常収益	684			1,766
経常費用	14,983			58,106
資金調達費用	985			4,009
（うち預金利息）	331			1,584
役務取引等費用	679			2,702
その他業務費用	785			347
営業経費	9,232			33,517
その他経常費用	3,300			17,529
経常利益	1,676			9,965
特別利益	250			3,497
特別損失	28			217
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,898			13,245
法人税、住民税及び事業税	88			170
法人税等調整額	-			3,177
少数株主利益 （は少数株主損失）	38			10
四半期（当期）純利益	1,771			9,907

【四半期財務情報作成のための基本となる事項】

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

[簡便な手続きの内容]

1. 貸倒引当金の算定基準

平成16年3月末の自己査定をベースとし、6月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実並びに行内格付の変更があった債務者について、当行の定める格付け・自己査定基準に基づいて算出した債権残高に対し以下のとおり計上しております。

[破綻先・実質破綻先債権]

・上記により算出した債権残高から、担保の処分可能見込み額等を控除し、その残額を計上。

[破綻懸念先債権]

・上記により算出した債権残高から、担保の処分可能見込額等を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上。

[上記以外の債権]

・上記により算出した債権残高に対し、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上。

2. 税金費用の計上基準

当第1四半期における税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しているため、法人税等調整額は四半期連結損益計算書「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

【セグメント情報】

1. 事業の種類別セグメント情報

連結会社は銀行業務を中心に、事務代行業務などの金融サービスに係る事業を行っておりますが、これらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店が存在しないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

3. 国際業務経常収益

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

平成17年3月期第1四半期の財務・業績について

1. 平成17年3月期第1四半期の業績概要

【単体】

(単位：百万円)

	平成17年3月期 第1四半期	平成17年3月期 中間期予想値	平成17年3月期 通期予想値	平成16年3月期 通期実績 (参考)
業 務 粗 利 益	13,220			58,612
資 金 利 益	11,244			49,147
役 務 取 引 等 利 益	1,438			4,519
そ の 他 業 務 利 益 (うち債券関係損益)	538 503			4,945 4,809
経費(除く臨時処理分)()	8,504			30,708
一般貸倒引当金繰入額()	893			3,551
業 務 純 益	3,823	8,800	18,600	24,351
うちコア業務純益	4,212	9,400	20,000	23,093
臨 時 損 益	2,444			14,421
不良債権処理額()	2,199			12,026
株 式 関 係 損 益	44			636
そ の 他 臨 時 損 益	200			1,758
経 常 利 益	1,379	2,000	6,000	9,930
特 別 損 益	175			3,225
税引前四半期(当期)純利益	1,554			13,156
法人税、住民税及び事業税()	6			28
法人税等調整額()	-			3,304
四半期(当期)純利益	1,560	2,000	6,000	9,823

【連結】

	平成17年3月期 第1四半期	平成17年3月期 中間期予想値	平成17年3月期 通期予想値	平成16年3月期 通期実績 (参考)
経 常 収 益	16,659	32,000	64,000	68,071
経 常 利 益	1,676	2,100	6,200	9,965
四半期(当期)純利益	1,771	2,100	6,200	9,907

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。

2. () は損失項目です。

3. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

平成17年3月期第1四半期までの業績は概ね計画どおり推移しており、5月21日に公表した平成17年3月期中間期及び平成17年3月期通期の見通しに変更はございません。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

2. 比較四半期 個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	54,386			41,731	12,655
コールローン	20,092			379	19,713
買現先勘定	71,993			-	71,993
債券貸借取引支払保証金	10,416			88,253	77,837
買入手形	-			8,800	8,800
買入金銭債権	1,756			913	843
商品有価証券	4,157			3,983	174
有価証券	846,367			727,028	119,339
貸出金	1,763,971			1,815,425	51,454
外国為替	1,569			1,504	65
その他資産	18,185			17,576	609
動産不動産	39,788			39,944	156
繰延税金資産	36,656			35,362	1,294
支払承諾見返	50,002			50,649	647
貸倒引当金	29,616			27,017	2,599
資産の部合計	2,889,728			2,804,534	85,194
(負債の部)					
預金	2,670,101			2,613,016	57,085
譲渡性預金	500			-	500
コールマネー	4,020			3,970	50
債券貸借取引受入担保金	41,801			11,207	30,594
借入金	29,849			29,928	79
外国為替	55			84	29
社債	3,000			3,000	-
その他負債	10,177			10,894	717
退職給付引当金	2,809			2,320	489
支払承諾	50,002			50,649	647
負債の部合計	2,812,317			2,725,071	87,246
(資本の部)					
資本金	60,346			60,346	-
資本剰余金	2,509			2,509	-
利益剰余金	9,751			9,889	138
その他有価証券評価差額金	4,868			6,779	1,911
自己株式	65			61	4
資本の部合計	77,410			79,463	2,053
負債及び資本の部合計	2,889,728			2,804,534	85,194

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

3. 比較四半期 個別損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期 (C)
経常収益	15,637			67,694
資金運用収益	12,229			53,156
(うち貸出金利息)	9,838			40,317
(うち有価証券利息配当金)	2,359			12,599
役務取引等収益	2,209			7,493
その他業務収益	604			5,292
その他経常収益	593			1,750
経常費用	14,258			57,763
資金調達費用	985			4,009
(うち預金利息)	331			1,584
役務取引等費用	770			2,974
その他業務費用	66			347
営業経費	9,224			33,557
その他経常費用	3,211			16,875
経常利益	1,379			9,930
特別利益	203			3,394
特別損失	28			168
税引前四半期(当期)純利益	1,554			13,156
法人税、住民税及び事業税	6			28
法人税等調整額	-			3,304
四半期(当期)純利益	1,560			9,823
合併による未処分利益受入額	-			62
前期繰越利益	7,847			-
四半期(当期)未処分利益	9,408			9,886

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

4. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

	平成16年6月末	平成15年6月末	平成16年3月末 (実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	304	393	318
危険債権	477	641	466
要管理債権	605	461	595
合 計	1,387	1,496	1,381

(注) 各四半期末におけるそれぞれの開示区分の金額は、四半期中の回収額等を加減した各四半期末時点における金額をベースとし、四半期中に倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに行内格付の変更等があった債務者について、当行の定める格付・自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い集計しております。

5. 自己資本比率(国内基準)

(参考)

	平成16年9月末(予想値)	平成16年3月末(実績)
(単体ベース)自己資本比率	7.6 %程度	7.67 %
Tier 1比率	5.5 %程度	5.40 %
(連結ベース)自己資本比率	7.7 %程度	7.72 %
Tier 1比率	5.6 %程度	5.49 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

6. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

その他有価証券の評価差額

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

	平成16年6月末				平成15年6月末				平成16年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	7,965	81	146	64	6,743	50	116	65	6,867	113	157	43
株式	454	126	127	1	357	23	55	32	443	115	118	3
債券	5,983	33	10	43	4,358	2	23	26	4,975	20	16	36
その他	1,526	11	7	19	2,026	29	36	7	1,448	18	22	3

(注) . 前年同四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、償却原価法適用前・減損処理前の帳簿価額と時価との差額を、当第1四半期末及び前期末は償却原価法適用後・減損処理後の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権等も含めております。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

平成16年6月末				平成15年6月末				平成16年3月末			
帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
	うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
487	3	1	5	305	0	1	0	386	1	2	1

子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

7. デリバティブ取引（単体）

（1）金利関連取引 該当ありません。

（2）通貨関連取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	36	0	0	-	-	-	25	0	0
	為替予約	201	4	4	294	7	7	57	0	0
	通貨オプション	13	0	0	-	-	-	8	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（3）株式関連取引 該当ありません。

（4）債券関連取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	294	3	3	-	-	-	-	-	-

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（5）商品関連取引 該当ありません。

（6）クレジットデリバティブ取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年6月末			平成15年6月末			平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	34	0	0	15	0	0	34	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

8. 預金、貸出金の残高（単体）

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成16年6月末	平成15年6月末	平成16年3月末
預金（未残）	26,701	26,963	26,130
うち個人預金	19,499	19,519	19,199
貸出金（未残）	17,639	17,844	18,154
うち消費者ローン	5,528	5,306	5,516

以 上